

内発的動機づけの高まる授業づくり

～運動特性を感じさせるゲーム中心の授業を通じて～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

氏名 青木 夕奈

運動特性を感じさせるゲーム中心の授業を行い、子どもたちの体育や運動に対する内発的な動機を高めることを目的として本実践を行った。運動特性を感じさせるために、バレーボールではなくキャッチバレーボールを採用し、高根（2021）がいうバレーボールの特性を感じさせることのできるように場やルールを設定した。岡沢（1998）によると内発的動機づけを高めるためには運動有能感を構成する3因子すべてを高めることが、運動に対する動機づけを高めることに繋がるとしている。キャッチバレーボールを行うことによって「参加できない」という状況をなくし、全員がゲームに参加することによって、落とす、落とされるというネット型特有の運動の特性を実感させることができ、運動有能感を上げることができた。これが、運動に対しての内発的な動機を高めることに繋がったと考えられる。